町報
きょなん

発行　鋸南町役場
編集　総務企画課
第４５２号
２９９－２１９２
千葉県安房郡鋸南町下佐久間３４５８
電話　０４７０－５５－２１１１（代）
毎月　１回

3
2006

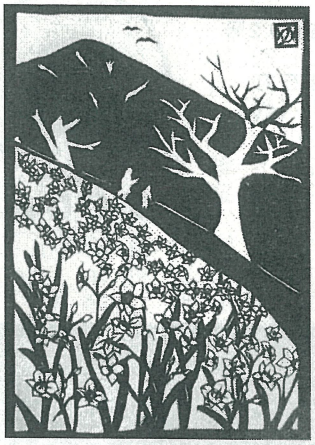


「JR東日本が、佐久間ダムにモミジを植栽」

ＪＲが平成４年からエコロジー推進活動の一環として取り組んでいる、「鉄道沿線からの森づくり」事業で、佐久間ダム親水公園にモミジを中心とした植栽が行われました。

１月２１日雪の降る中、ＪＲ職員１５人が、イロハモミジ、ヤマボウシ、ドウダンツツジ２３１本を植栽、ダム周辺にはすでに１２００本のサクラが植えられており、花見の時期には大勢の人出で賑わいます。今回の植栽により紅葉の名所となることも期待されています。

水仙絵画コンクール入賞作品決定！



大　賞（切り絵）
中学校の部
山﨑悠以さん



大　賞（水彩）
小学校高学年の部
石井友望さん



大　賞（水彩）
小学校低学年の部
能重歩佳さん



審査員特別賞（水彩）
鈴木佑紀菜さん

町観光協会では、水仙まつりに合わせて、町内の小中学校の児童生徒を対象に水仙絵画コンクールを実施しました。今年で１０回目となるこのコンクール、２月１５日に審査が行われ、入賞作品が決定しました。各学校で１次審査を通過した、中学生の作品３０点と3小学校から５３点、合計８３点が出品されました。水仙がテーマであれば内容が自由であるため、応募作品は、水彩画、ちぎり絵とさまざま。また、できばえも見事な作品揃いで審査は難航しました。結果、大賞には小学校低学年の部は能重歩佳さん（勝山小３年）、高学年の部は石井友望さん（佐久間小５年）、中学校の部は山﨑悠以さん（鋸南中２年）の3名が選ばれました。また、観光協会が例年作成している年賀状の図柄となる審査員特別賞には鈴木佑紀菜さん（勝山小４年）の作品が選ばれました。入賞作品は ３ 月4日から ３ 月 15 日まで中央公民館ロビーに展示されます。

葛飾区立保田養護学校で松木安太郎さんがサッカー指導



松木さんと記念撮影

スポーツに情熱を注ぐ団体を支援する「Ｙａｈｏｏ！ＪＡＰＡＮスポーツ応援プロジェクト」で、葛飾区立保田養護学校がライフエンジン賞を受賞しました。同プロジェクトでは、全国の団体からスポーツに対する思いを募り、最も熱意のあるメッセージを寄せた団体を表彰。受賞した保田養護学校は、病弱児童や不登校児童のための学校で、自立活動としてサッカーを取り入れており、子どもたちも元気に楽しんでいます。今回の選考では、サッカーに出会い、友だちに励まされながら楽しさを知り、自信を取り戻したという、児童のメッセージが選考委員に共感。１月２４日にサッカー解説者の松木さんが保田養護学校でサッカー教室を開き、ミニゲームでは子供も大人もグラウンド内を元気一杯に走り回った。

松木さんは「子どもたちは元気が良くて、素直でいまどきの子にしては珍しい。先生も子どもも一生懸命で、やっぱり環境なんだなぁ」と感心していました。サッカーの指導にあたってきた同校の平山満先生も「毎日、毎日サッカーを楽しむのが、保田のサッカー。そんな保田のサッカーを松木さんに見ていただきうれしい」と話してくれました。

スキー・スノーボード教室

鋸南町スキー・スノーボード教室を、２月３日（金）～５日（日）に、日光湯元スキー場を会場に実施しました。参加者は、子ども33名と保護者４名の37名で、参加者の中にはスキー場に行くのも、雪山を見るのも初めてという子もいる中、わくわくドキドキしながらの教室がスタートしました。インストラクターや体育指導委員のアドバイスを受けながら、着々と上達した子どもたちは、１日目の昼からリフトに乗り、スキー場を思いっきり滑降していました。氷点下10度以下という普段では体感できない寒さも、子どもたちにとっては、素敵な思い出になったと思います。



青少年健全育成柔剣道大会

１月２９日鋸南中学校を会場に、第４５回鋸南町青少年健全育成柔剣道大会が開催されました。県内各地から、剣道の部８２チーム、柔道の部３１チーム総勢５６８名の選手が参加して熱戦を繰り広げました。

結果は、剣道の部で鋸南中学校は中学生男子団体戦で準優勝、中学生女子団体戦で第３位。小学生女子団体戦で鋸南剣道スポＡが準優勝、鋸南剣道スポＢが第３位。

柔道の部で中学生女子団体戦で鋸南中Ａが第３位、中学１年団体戦で鋸南中が第３位と好成績を納めました。



桜変化写真展＆粘土の花工芸展

道の駅きょなんギャラリーで、相川　弘、千代美夫妻による「桜変化写真展＆粘土の花工芸展」が開催されました。相川弘さんは、菱川師宣記念館で富士山の写真展を開催したことがあり、２回目の作品展となりました。今回の作品は桜。鹿野山の麓馬登たたずむ樹齢６０年余りのしだれ桜に魅せられ、毎年４月初旬頃撮った作品を展示。「朝・昼・夜とすべて色の違う表情を見せ変化するしだれ桜を、服飾デザイナーの感性で写し続けた。」と相川さんは述べられていました。千代美さんは、１５年前から粘土の花工芸を学び、現在は粘土工芸教室を開催し講師として活躍されています。展示してある作品はどれも、一瞬見ただけでは本物と区別がつかないほど精巧に造られていました。写真と粘土の花工芸展、異なるジャンルの作品展でしたが、ご夫婦の絆が会場の雰囲気をひとつにまとめ、新たな芸術の世界を作りあげていました。



安房農業賞・奨励賞受賞

去る、１月２５日館山市芳譽にて、農林業の発展に尽力された人を称える安房農業賞・奨励賞の表彰式が行われました。鋸南町では、大胡英一さん（大帷子上）が安房農業賞、鈴木章夫さん（本郷上）が奨励賞をそれぞれ受賞されました。大胡さんは、長年にわたり鋸南町枇杷組合長として、高品質な枇杷生産と経営改善に心がけ、前鋸南町有害鳥獣対策協議会会長として、有害鳥獣による農作物被害の軽減に尽力されました。

鈴木さんは、環境にやさしい農業の推進と労働の省力化に励み、低コストでありながら、高品質なカーネーションの生産技術普及活動を展開しており、第５４回関東東海花の展覧会においてカーネーションを出品し、見事、農林水産大臣賞の栄冠に輝くなど、地域農業の振興を図るうえで、今後も活躍が期待されています。



笑楽の湯

毎月26日はお風呂の日。３月のお風呂は「さくら湯」です。

寒い冬が終わり、暖かくなってくると、「そろそろ桜が咲く頃」と待ち遠しく感じます。

でも、咲き出すとほんの10日くらいで散ってしまって、なんだかもったいないような気がします。

笑楽の湯の「さくら湯」には桜の樹皮を使いますが、浴槽の水が緑色に変わって、香りも良く、まるで新緑に包まれているような、すがすがしい気分になれます。

桜の樹皮にはいろいろな薬効があり、煎じて飲めば食中毒・食あたりなどに効果があるとされています。桜は咳止めにも使われていて、抽出エキスは市販のシロップ剤などに配合されています。江戸の頃には、濃く煎じた液を湿疹や打ち身にも外用したようです。

このようにいろいろな効果がある「さくら湯」で春の趣をお楽しみ下さい。

今月のお風呂大好き



石島ふくさん
「仲間とのんびりしながら楽しんでいます。」

お雛様づくり

２月４日（土）、オープン学級で、お雛様作りを開催しました。４歳から80歳過ぎのおばあさんまで参加し、世代間交流を楽しみました。

講師に、元幼稚園教諭　佐生真理先生をお迎えし、友禅和紙を使って平面的なお雛様や立体的なお雛様を作りました。参加した小学４年生の男の子は、大人でも、作り方を見ただけでは、なかなか理解できない立体的なお雛様を、簡単に作ってしまい、周囲を驚かせると同時に、周りの人にも丁寧に教えていました。

おひな祭りまで、１ヶ月は飾れるよう２月４日に開催したので、何種類かのお雛様作りに挑戦し、いろいろなところに飾りたいと楽しんで作っていました。



かるた大会

鋸南町青少年相談員連絡協議会（会長鈴木悟）が主催する恒例の「鋸南町かるた大会」が、１月29日（日）に実施されました。小学生を対象とした本大会は、毎年大好評で、今年は58名の参加者が集まりました。鋸南のかるたは、現在の中学生の子どもたちが教育委員会の実施した教室の中で製作したものです。かるたには、鋸南町の歴史や文化、自然などが盛り込まれており、主催した青少年相談員も、「子どもたちが楽しみながら、郷土のことを知ることができ、本当に良いかるたを作ってくれた」と話しています。大会は、札を読み始めるとピリピリとした緊張感の中、札をとる子どもたちの、「ハイッ！」という大きな声が響きわたりました。

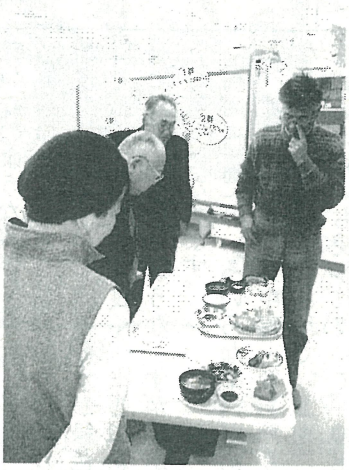


生活習慣病予防教室

２月17日に「生活習慣病予防教室」を開催しました。生活習慣病とは、がん、高脂血症、糖尿病、高血圧、肥満、腎臓病、肝臓病、脳血管疾患等で、日常の生活習慣によって起こる病気のことをいいます。

教室では、まず体組成測定で体重・体脂肪率・内臓脂肪レベル・筋肉量・基礎代謝・体内年齢・骨塩量を測定。体格は普通なのに内蔵脂肪が多かったり、体内年齢が実年齢より高かったり、低かったり･･･新しい発見がありました。予防のためには、運動・食事・休養がバランスよく生活の中に取り入れられることが重要になります。「なぜ運動不足が病気の原因になるのか」、「食事の量と栄養のバランスを上手にとるためにはどうしたらいいか」を聴いた後、実際に昼食をバイキング形式で摂りました。

参加した方からは「自分にあったカロリーの範囲で（食事内容を）決めることに苦労しました」「とても参考になるのでもっと多くの人が出席をするようになれば良いと思います」と感想がありました。



人骨山（ひとぼねやま）ハイク

２月のコースは大崩の人骨山でした。人骨山には鬼が住んでおり、毎年若い娘がいけにえにされたといい大崩の畑地区では今でも節分に豆まきをしない風習が残っています。「鬼は外」なんて言うものならたたりがあったと言い伝えられています。

また「ひとぼね」はひとぼし（火点し）がなまったものでノロシをあげた山だったという説もあります。山頂はぐるっと鋸南が見渡せるすばらしい展望で浮島まで見えました。今年は水仙の開花が遅くちょうど見頃で香りだだよう中を歩くことができました。今回の参加者は45名、帰りには地元の酪農家の方からしぼりたての牛乳をいただき、おみやげは摘みたてのナバナでした。今後も鋸南の自然・文化・歴史にふれながらの味わい深い里山ハイキングを推進していきたいと思います。



つなげよう声のネットワーク

声のバトンタッチ（48）

町民のみなさんの「声」をバトンタッチでつないで、友だちから友だちへ「声」のネットワークを広げていくコーナーです。
お尋ねする内容は、①仕事や趣味　②最近心に感じた事やうれしかったこと　③町政に望むことなどです。次はあなたもネットワークの一員です。

日下　和也さん（両向区・大工）



次回は金木　正寿さん（本郷区）へバトンタッチされます。

①鋸南に帰って来て、もうじき２年が経ちます。実家が工務店なので大工として仕事をしています。まだまだ分からない事が多く、勉強の毎日ですが、周りの人達に支えられなんとかやっています。施主さんに喜んでもらえるような仕事を心がけています。
②主に地元での仕事が多いので鋸南町でもいろいろなお宅で仕事をさせてもらっています。皆さん笑顔で迎えてくれて心の温かさを感じます。鋸南町は確かに田舎で多少不便な事もありますが、都会には無い良さも沢山あると感じました。
③高齢化が進む今、福祉施設の充実を望みます。子どもを狙った事件も増えている中、弱い者を守れる町になるよう、今後の町政に期待しています。

赤﨑　玉枝さん（本郷区・主婦）

①８年前に千葉市から生まれ故郷の鋸南町に帰って来ました。両親と兄夫婦の勧めのおかげでここに家を建てさせていただける事になりました。親元でまた生活出来るなんて思っていませんでした。こちらに来てからは主婦の傍ら実家の花店の手伝いをしています。でも見るのと手にするのはまったく違い技術を覚える事が大変でした。今では姉の指導の元、何とか留守を預かるまでになりました。趣味はバレーボールでなかなか練習に行けないのが残念です。
②今春、一人息子が中学入学。幼稚園当時は実家の母が見てくれていましたが、畑仕事をしながらで大変でした。小学校の時、学童保育の立ち上げに出合いおかげさまで無事 6 年間過ごさせていただきました。関係者の皆様本当にありがとうございました。
③鋸南町に望む事は、一人暮らしのお年寄りが安心して生活出来る様に応援し、また、若い人たちが働けるような環境を作っていただきたいと思います。



次回は齋藤　美代子さん（奥山区）へバトンタッチされます。

文芸

めっきりと桜の樹皮の艶めきて
紅さし初めぬ弥生に入りて　朝日　てい子

心憂き日日にてあれば
早春の空を飛びたし
小鳥になりて　中村　ひろ子

苔むせる百年の桜
わが庭に今生の力しぼりて匂ふ　中村　玲子

梅雨降れる青田に賑はふ蛙らの
指揮者あるごと声揃へ鳴く　中山　弘子

土割りて春告ぐるごと芽吹きたる
蕗の薹の香り清しき　森　ユキ

月明り頼りて稲をかけし日よ
八十路の今につらき思ひ出　山根　喜代

夏山にあす旅立ちの大き日がもの
言ひたげにゆつくり沈む　渡邉　博子

家庭教育通信 すくすく No.56

『子どもの食問題』

子育てをしていく上で、食事は単に栄養を摂取するだけではなく、心の成長の上でも大切なものです。食べながらの楽しい会話、笑い、その中から子どもたちはいろいろなことを学んでいきます。今回は、先月に引き続き、肥満や生活習慣病、日本型食生活、食育基本法ついて考えてみたいと思います。

○肥満について

生活習慣病は、成人になって起こる病気という認識でしたが、近年、若年化が進んでいます。

生活習慣病の原因は、日常生活の乱れ、特に食生活の乱れ、身体活動の不足、夜型の生活からきていることがあげられます。また、小児肥満もその要因の一つです。小児肥満は、過去30年の間に3倍に増えました。食事で、一口30回噛んでから飲み込むことを心掛けるだけでも肥満防止になります。噛むことで消化がよくなり、早食いも抑制します。一方、極度のダイエット志向からやせ過ぎの若い女性が増え、小中高生にまで弊害が指摘されています。神経性のやせ症は、深刻化すると命の危険があります。頑固な拒食や、食事に時間がかかるようになっていないか、急激にやせてきていないか、過度の運動、下痢等はないか、普段から子どもと接して気付いてあげることが大事です。

○日本型食生活

肥満や心臓病に悩む欧米では、食事改善の必要があるとして、日本の食事を手本にしようとしています。なぜ、日本の食事がよいと言われるのでしょうか。日本は、米を主食として、種類豊富な野菜、魚、海藻、豆をたっぷりと入れた食事の習慣にあわせ、調理法の工夫で、脂肪の摂りすぎを防いだり、梅干、らっきょうなど保存食品や酵素類の多い食品を日常食として用いています。これらの食事は、日本の風土、気候にあったもので、身体によいものとして、長い年月をかけて作り上げられ、理想的な食事といえます。

しかし、近年、日本古来の食事から離れ、洋風化してきているようです。そのため、日本でも動脈硬化などの生活習慣病が多く見られるようになりました。日本人も日本食のよさを見直す時期に来ているのではないでしょうか。

○食育基本法

「食」についての見直しの必要性が高まっている中、食育基本法が平成17年6月10日国会で成立しました。

家族が揃う食事が少なくなり、子どもの食は、手軽で好きなものに偏りがちです。家族一緒の食事でも、それぞれ好きなものを食べていることが少なくありません。また、生活面でも、大人の時間に合わせて、夜型化が進み、朝食を抜いて登校してくる生徒も増えています。食育基本法は、こうした社会や子どもたちの状況を踏まえ食育活動を推進していこうとするものです。家庭における食育では、子どもの食への関心を育て、健全な食習慣を確立することが望まれています。

子どもも大人も忙しい現代ですが、ちょっと立ち止まって、子どもとの食事について、考えてみませんか。

教育委員会　生涯学習室
電話55－2120

健康通信

「内臓脂肪症候群」

一見肥満と思えない人が、肥満に伴う合併症にかかる例が増え、内蔵脂肪への関心が深まっています。内臓脂肪は皮下脂肪に比べ、糖尿病や高脂血症など、多くの生活習慣病のモトになる“諸悪の根源”だということが分かってきました。

肥満の指標として「BMI（ボディー・マス・インデックス）」があります。これは体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)で計算されます。BMIの理想値は22、27以上は肥満と定義されています。体重70・5kg身長169cmなら70.5÷1.69÷1.69＝24.7で、正常域だが肥満傾向となります。

肥満の中でも危険なのが「内臓脂肪蓄積型」といわれる肥満で、内臓脂肪のたまり具合をどう見極めるかが注目されています。やせているのにおなかだけ出ている中高年の男性が「内臓脂肪蓄積型」肥満の典型です。やせていれば肥満ではないと誤解している人が危険です。内蔵脂肪の蓄積と、糖尿病・高血圧・高コレステロール血症などが同時に進行すると『内臓脂肪症候群（メタボリックシンドローム）』と呼ばれる状態になります。すなわち動脈硬化による脳卒中や心筋梗塞に発展する危険性が高まるのです。

内臓脂肪症候群については、ウエストサイズが、男性85cm以上・女性90cm以上で、かつ

① 中性脂肪が150mg/dl以上又はHDLコレステロールが40mg/dl未満

② 最大血圧が130mmHg以上又は最小血圧85mmHg以上

③ 空腹時血糖が110mg/dl以上

この3項目のうち2項目以上に当てはまる場合とされます。

あなたのBMIや検診の結果は「内臓脂肪症候群」に当てはまらなかったでしょうか？もちろん診断には医師の診察を受ける必要があります。でも内臓脂肪は、食事に気をつけ運動を心がけることで比較的簡単に減らせるといわれます。大切なのは、脳卒中や心筋梗塞などの大病に進行する前に気づき、生活習慣を変えることです。

（保健福祉課健康推進室）

資料館 歴史

●連載164

お伊勢参り（3）

箱根八里は馬でも越すが

浦賀へ渡った岩崎泰輔一行、三月一日、金沢八景の野島にちょっと寄り道。このあたりは洒落た茶屋が多く、中でも千代本は、江戸の高級料理屋八百善になぞらえ、田舎八百善と言われていました。そこの亭主は泰輔と知り合いで、一行は引き止められもてなしを受けます。

鎌倉では鶴岡八幡宮を参詣。宝物を見て泰輔一首。

「槍にさや弓に袋と白旗や　黄金作りも今はなまくら（鎌倉）」

藤沢に出て、いよいよここから東海道です。往来の人絶え間なく賑わしと、泰輔は記しています。遊行寺を参詣し、馬入川を船で渡って、烟草屋という宿に宿泊。

「やにくさき宿と思ひし烟草屋は葉ぶりもよくてきり目正しく」

翌二日は小田原泊。翌三日はいよいよ箱根越えです。宿に頼んでおいた駕籠に乗り、小田原城下から湯元へ、名物のういろうや箱根細工の店を横目に見つつ、急な坂を登り登って芦ノ湖へ。

まだ雪が残る箱根の関所を通り、山中茶屋で休みながら、今度は下って三島に到着。綿屋という宿に泊まりました。

「箱根山越えても雪を三島宿　うちとけて寝る綿屋あたたか」

小田原・三島間がいわゆる箱根八里です。

田子の浦の富士

四日、三島から沼津を経て富士の雄大さに感動しつつ、吉原の四つ目屋泊。五日、富士川の渡し。ここは道中一の急流で、船に棹もきかず、流れにまかせて向こう岸へ取りつく方法だったようで、泰輔も肝を冷やしたようです。さらに進んで蒲原、由井、興津へ。富士の絶景に一首。

「ちらちらと過る帆影をしら雪や不二も一目に三保の松原」

このあたりの海岸は田子の浦。泰輔は山部赤人の田子の浦勝山説をひきあいに出し、説の提唱者、山口志道は房州出身なので、我が国びいきから出たのだろうと、少々批判的な見解です。

この日は久能山の麓の宿、蕎麦屋に泊。六日、久能山参詣中に激しい雷雨となります。早々に下山して、府中の中万屋という宿で昼食。着物を乾かしてその日はここに宿泊しました。

七日、大井川の水かさが増して逗留。ここの西側に安倍川という川があり、ここの名物が餅を黄な粉でくるんだ安倍川餅です。泰輔は、初めてここの名物から出た名前だということを知ったようです。

また町外れにあるのが、吉原二丁町という有名な遊廓。宿の女中に遊んでおいきなさいと勧められて、泰輔一首。

「吉原は引手やり手もありときくここに行手のないが奥の手」

泰輔一行が、吉原二丁町で遊んだかは定かではありませんが、このあと、一行の旅の行く手には、箱根越えよりやっかいな大井川の川留めが待っていたのです。

（続く）



東海道五十三次　箱根

生涯学習 みんなで学ぼう

「英会話教室」



キッズクラスの様子

昨年１１月から英会話教室がはじまりました。講師は町ＡＬＴとして７月に着任したアメリカ人のジャステン・ブラウン先生です。先生は母国の大学で日本語を専攻し、外国人に英語と日本語を教える教師を目指しているだけあって、かなりの日本通です。教室は昼間と夜間の大人のクラスと子どものクラスの３つです。子どものクラスでは、ことば遊びやゲームを取り入れて、聞くこと・話すことに慣れるよう楽しい雰囲気で学習が進みます。大人のクラスは、参加者が日常生活での出来事を話題に取り上げ英会話を学んでいます。ジャステン先生の指導で“クリスマス”の時期には、細かいデザインに切り抜きをほどこした、レースの様な紙の飾りを作ったり、“バレンタインデー”には手作りチョコレートに挑戦したりと、アメリカの習慣についても体験を通して学んでいます。



楽しく会話がはずみます

問い合わせ先　５５－４１５１　中央公民館

わんぱく登場



真里愛ちゃん（0歳10か月）

〔中山　博忠さん　第４子　竜島〕

わたし四人きょうだい。少し早く小さく生まれたけど今では何でも良く食べて同じ頃の大きさ比べならきょうだい一です。おにいちゃん・おねえちゃんは学校や幼稚園に行っているので昼間は一人っ子。みんなが帰ってきて、しつこいほどかわいがってくれるのが、とっても楽しみです。

桜だより

～日本一の桜の里を目指して～

皆さんご存知のとおり、町では花いっぱい事業として河津桜を中心とした花木の植栽を実施しています。町民の皆さんに植栽していただいた河津桜の他にも、色々な場所に河津桜と、数種類の桜が植栽されています。

今回は、町が植栽した主な場所を紹介していきます。

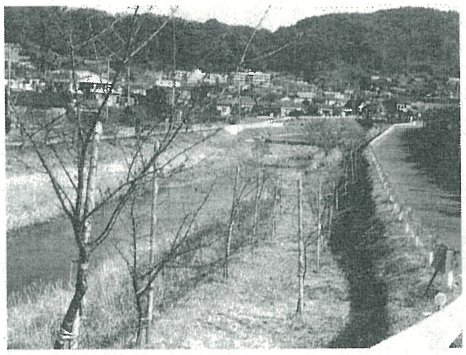
まず役場庁舎前に植栽してある河津桜の原木の子孫、すでに9年がたち開花時は、綺麗な花を咲かせています。

そして、桜の拠点ともなる、佐久間ダムと、保田川、佐久間川の河津桜も順調に育ち、これからが楽しみになってきました。

その他にいつも皆さんが利用されている鋸南富山インターには、河津桜、関山、寒緋桜、鋸南保田インターには河津桜、染井吉野が植栽されています。また長狭街道沿いの湯沢バス停そばに枝垂桜、関山、江戸彼岸、河津桜が、将来電車の中からも見ることが出来る下佐久間線路脇に河津桜が植栽されています。

これからも、町民の皆さんの協力をいただき「日本一の桜の里」をめざして、桜を植栽していきたいと思います。

町民みんなで一日も早く「日本一の桜の里」になるよう育てていきましょう。



保田川



下佐久間線路脇

B&G NEWS

◆温水プール開館時間
10：00～21：00
※12時～13時・17時～18時は休憩
◆休館日　月曜日
◆プール利用料金
（町民）小中学生　200円
一般　400円
※幼児は無料

《アクアビクス体験教室参加者募集！！》

海洋センターでは、多くの方にプールを利用していただくため様々な教室を行っています。今回、新たに『アクアビクス教室』を計画中です。アクアビクスとは？と思う方のため、体験教室を実施します。高校生以上ならどなたでも参加が出来ます。泳げない方や高齢者の方も大歓迎です！

期　日：3月18日(土)　19：30～20：30
参加費：無　料
◇問い合わせ　鋸南町B&G海洋センター　55－4411

あの子もこの子もきょなんの子

（1月26日から2月25日迄の届分）
おめでとう！

今号は掲載希望がありませんでした。

善意の寄付

山根　庸一郎さん（上佐久間区）
社会福祉寄付金　100，000円

中村　勇さん（中佐久間区）
社会福祉寄付金　200，000円

鈴木　秀幸さん（町区）
勝山小学校建設基金寄付金　15，000円

写真さしあげます。

広報に掲載した写真をさしあげます。
一部希望に添えない場合もあります
◇総務企画課 広報係
電話55－4801

人の動き・・・・・

世帯数	3，752世帯	（＋4）
人口	10，024人	（－32）
うち男	4，836人	（－13）
女	5，188人	（－19）

2月1日現在（前月比）

編集後記

水仙絵画コンクールの入賞作品が決まりました。全部の賞を紹介することが出来ず非常に残念です。どの絵も素晴らしい出来栄えでした。

話し替って、先日、交通事故抑止パレードを見学しました。白バイ隊が悠然と走る姿に感動しました。皆さんも事故を起こさないよう安全運転を心がけましょう。

（K）